

静止気象衛星「ひまわり6号(MTSAT-1R)」から「ひまわり7号(MTSAT-2)」への運用切り替えに対応する提供データ範囲の変更, サーバ変更等の案内

平素より, 当センターの衛星データ公開事業に対しご理解頂き, ありがとうございます. 2010年07月01日03UTC(日本時間12時)より, ひまわり6号(MTSAT-1R)からひまわり7号(MTSAT-2)への切り替えが無事行われたことに伴い, 提供データ範囲の変更, ならびにこの機会にサーバのリプレース, 公開データ種類の拡張を行いましたので報告します.

1. 公開データサーバの変更

(旧) <ftp://mtsatsat-1r.chiba-u.ac.jp/> (新) <ftp://mtsatsat.cr.chiba-u.ac.jp/>

なお, 旧サーバ名でも新サーバからデータ取得ができるよう, 設定がなされていますが, この機会に shell 等に組込んだサーバ名を変更していただくと幸いです.

2. ひまわり6号(MTSAT-1R)からひまわり7号(MTSAT2)への運用切り替えに伴う提供データ範囲の変更

ひまわり7号の観測経度が東経145°となることから(ひまわり6号は東経140°), 当センターから提供するひまわり7号データセット(緯度経度直交座標系に幾何補正を施したデータセット. 以下 grided data と表記)は以下ようになります(図1. 比較のため, ひまわり6号での観測範囲, grided data の範囲を併記. 図2).

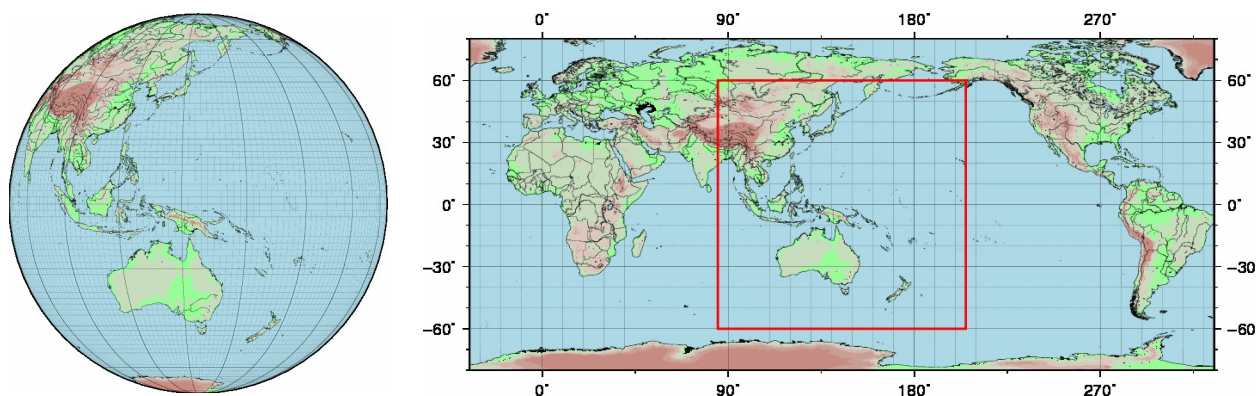


図1 ひまわり7号(MTSAT-2)の観測範囲(左)および grided data の範囲(赤線で囲われた領域; 右)

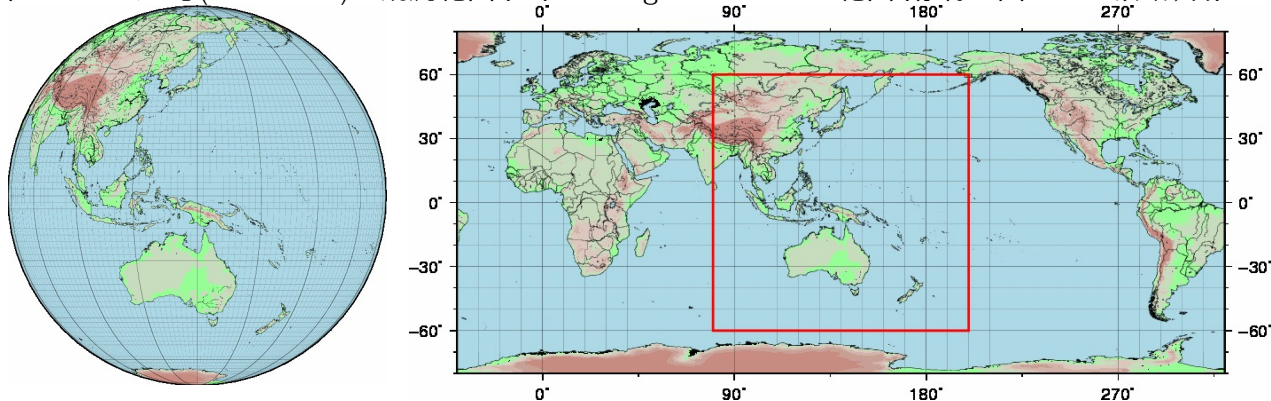


図2 ひまわり6号(MTSAT-1R)での観測範囲(左), grided data の範囲(赤線で囲われた領域; 右)

MTSAT-1R からの継続性も考慮し、同じ緯度経度範囲の grided data も生成しています。公開先は以下の通りです。Grided data の仕様は表 1 を参照下さい。

(MTSAT-1R grided data): <ftp://mtsats.cr.chiba-u.ac.jp/grid-MTSAT-2.0/MTSAT-1R/>

(MTSAT2 grided data): <ftp://mtsats.cr.chiba-u.ac.jp/grid-MTSAT-2.0/MTSAT2/>

(MTSAT-1R 互換 MTSAT2 grided data):

ftp://mtsats.cr.chiba-u.ac.jp/grid-MTSAT-2.0/MTSAT2_1R-Compatible/

表 1: Grided data の仕様

	MTSAT-1R (- 2010/Jul/01 02UTC) MTSAT2_1R-Compatible (2010/Jul/01 03UTC -)	MTSAT2 (2010/Jul/01 03 UTC -)
経度範囲	80° (80.02°E) – 200° (160.02°W)	85° (85.02°E) –205°(155.02°W)
緯度範囲	60° (59.98°N) – - 60° (59.98°S)	←
データサイズ	3,000 pixels x 3,000 lines (IR), 12,000 pixels x 12,000 lines (VIS) unsigned short (符号無し 2byte 整数) big endian data order, North to South data read	←
空間解像度	0.04° (IR), 0.01° (VIS)	←

3. 公開 grided data の拡張

これまでの full-disk scan データ(全球観測, 毎時;DK01)のみならず, 当センターに収録されている全ての HRIT データに対し grided data を生成しました。そのため, 北半球観測モード(NH; DK02), 南半球観測モード(SH; DK03) についても grided data 提供を行います。なお, 圧縮された grided data のファイル名のみではどのモードで観測が行われたかの判別はできませんので, これまで通り full-disk scan データのみを取得されるのであれば, 毎時 30 分前後のタイムスタンプとなっているファイルを取得すれば良いと思います。圧縮ファイルを展開するとバイナリデータ名の最初の 3 文字が観測モードを示します。

MTSAT 観測スケジュールの詳細に関しては気象庁衛星センターのホームページをご参照下さい。

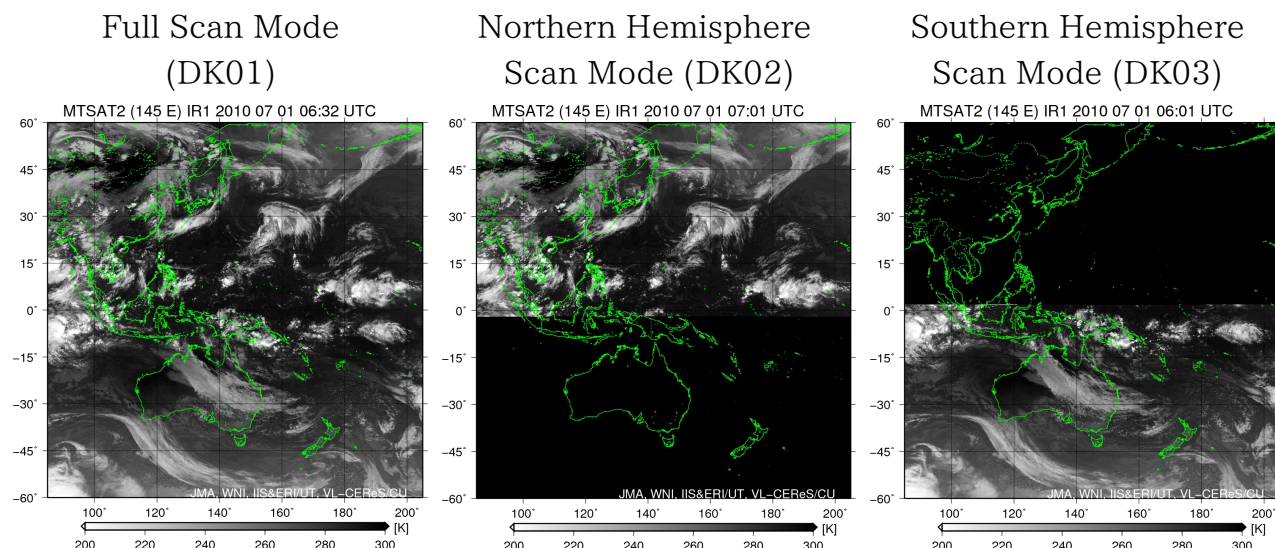


図 3: 観測モードの違い(full scan mode; DK01 左, NH mode; DK02 中央, SH mode; DK03 右)

本件の問い合わせ先: 千葉大学環境リモートセンシング研究センターデータベース計算機委員会委員長:
樋口篤志 higu_at_faculty.chiba-u.jp (_at_ を @ に変換してください)